

高等学校 外国語科(英語) 学習指導案

指導者 村田 綾佳

- 日時** 平成 29 年 11 月 30 日(木) 第 5 限 13:20~14:10
- 場所** I 年 2 組教室
- 学年・組** 高等学校 I 年 2 組 39 人 (男子 21 人 女子 18 人)
- 単元** Lesson 8 The Power of Presentation
ELEMENT English Communication I (啓林館)
- 目標**
- 1.与えられたテーマについて説得力のあるプレゼンテーションをする。(外国語表現の能力)
 - 2.説得力のあるプレゼンテーションに必要な要素を理解する。(外国語理解の能力)
 - 3.ペアワークやグループワーク等に積極的に取り組む。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

指導計画 (全 11 時間)

- 第一次 教科書本文の言語材料・概要の理解 2 時間
- 第二次 本文内容の理解 5 時間 (本時 2/5)
- 第三次 プレゼンテーションの準備 2 時間
- 第四次 プレゼンテーション活動 2 時間

授業について

本単元は 2020 年の東京五輪招致のプレゼンを題材に、聞き手の心をつかむプレゼンテーションに必要なことについて述べられている。そのため、生徒がより良いプレゼンテーションに必要なことについて本文を通して理解し、最終的にはそれを生かして実際にプレゼンテーションを行う活動につなげていきたい。

授業は基本的に内容に関する動機付け、単元全体の概要把握をはじめに行い、その後パート毎の内容理解、リテリング等のアウトプット活動の順で進めている。ペアワークを積極的に取り入れ、生徒主体の学びが少しでも多くなるよう心がけている。

本授業では、2 人のプレゼンターがどのようにしてプレゼンテーションを成功させたのか、ワークシートの発問や音読、互いに説明し合う活動を通して理解を深めさせたい。

本時の指導目標

- 1.与えられた情報を読んで理解する。(外国語理解の能力)
- 2.ペア活動などを通して積極的に読んだり伝えたりする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

本時の評価規準 (観点/方法)

- 1.様々な活動を通して与えられた情報が理解できる。(外国語理解の能力/ワークシート・活動の観察)
- 2.ペア活動などを通して積極的に読んだり伝えたりしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度/活動の観察)

本時の学習指導過程

学習内容	学習活動	指導上の留意点
本時活動 1 前時の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の意味と発音を復習する。 	
本時活動 2 内容理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートや口頭での発問を通して内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに答えを確認したり疑問点を共有したりするよう促す。 ・理解する上でつまづきそうな英文解釈のところを適宜確認する。
本時活動 3 音読	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の整理・定着のために音読をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スラッシュ入りの音読シートを用いてまとまりを意識して読ませる。 ・難易度をあげながら繰り返し音読し内容の定着を図る。
本時活動4 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて要点を整理し相手に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の言い換え等を意識するよう促す。
備考		

Lesson 8 the Power of Presentation 《Part 2》

New words and phrases

Words	Meanings	Usages
Paralympian	パラリンピック出場選手	
*suffer	損害を受ける	
earthquake	地震	
topic	題目	
*perfect ㊦	適当な, 完璧な	
*overcome ㊦	～を克服する	
*difficulty 名	困難	
not <i>A</i> in any way	決して <i>A</i> ではない (どんな点でも <i>A</i> でない)	=not <i>A</i> at all ex. I'm <i>not</i> an artist <i>in any way</i> .
*be used to <i>A</i>	<i>A</i> に慣れている	ex. Many Western people <i>are used to</i> Japanese food today.
athlete	運動選手	
*prepare ㊦ 動	準備する	名詞()
*impact ㊦	(強い) 影響	
have an impact on <i>A</i>	<i>A</i> に強い影響がある	ex. This project will <i>have a strong impact on</i> young people.
<i>A</i> is impressed with <i>B</i>	<i>A</i> (人) が <i>B</i> (人・物・事) に感動する	→impress <i>A</i> with <i>B</i> ex. I <i>was impressed with</i> the beautiful temples in Nara.
kindness 名	思いやり	
*translate	～を翻訳する	
translate <i>A</i> into <i>B</i>	<i>A</i> を <i>B</i> に翻訳する	=put <i>A</i> into <i>B</i> ex. Mike can <i>translate</i> Spanish <i>into</i> Chinese.
after all	結局のところ	ex. He didn't agree with us <i>after all</i> .
letter by letter	一字一字	ex. Please spell out your answer <i>letter by letter</i> .
*successful 形	成功した	副詞() 動詞() 名詞()

be successful in <i>doing</i>	～するのに成功する	ex. He <i>was successful in doing</i> business with European companies.
*attention	注目	get(attract, catch) ~'s attention =～の注目を集める、～の気を引く
*theme	テーマ, 主題	

Reading for details

- (1) She was the perfect person to make this speech because she really showed the power that helped her overcome her cancer and the difficulty of the earthquake. の一文を日本語に直しなさい。
- (2) What was the good thing about Sato for making a good speech?
- (3) “Failure to prepare is preparing to fail.”の表す意味と同じ意味になるように、下線部に語句を補って英文を完成させなさい。
You cannot succeed _____.
- (4) Who decided to use the word *omotenashi*?
- (5) Why did Nick give up translating the word *omotenashi* into foreign languages?
- (6) This way of saying it had a strong impact on the listeners.の下線部を日本語で説明しなさい。

Share your ideas

○Have you ever been impressed with *omotenashi* in Japan?

Lesson 8 The Power of Presentation 【 Part 2 】

③

Nick chose Sato Mami / ニックは佐藤真海さんを選んだ
as the first presenter. // 最初の発表者として。
She was a Paralympian / 彼女はパラリンピック選手であった
and had also suffered in the Great East Japan Earthquake. // また東日本大震災で被災していた。
Her topic for the speech / 彼女のスピーチの題目は
was “The Power of Sports.” // 「スポーツの力」だった。
She was the perfect person / 彼女は最適な人物であった
to make this speech / このスピーチをするための
because she really showed the power / 彼女は実際にその力を証明して見せたので
that helped her overcome her cancer / 自らのがんを乗り越えるのに役立った
and the difficulty of the earthquake. // そして地震という困難を。

④

Of course, / もちろん
she was not a professional speaker in any way. // 彼女は決してプロの話し手というわけではなかった。
The good thing about her, / 彼女の良いところは
however, / しかしながら
was that she was used to hard practice / つらい練習に慣れていたことだった
as an athlete. // 運動選手として。
For her four-minute speech, / 4分間のスピーチのために
she practiced several hours a day / 彼女は1日数時間練習した
for weeks / 数週間
before the final presentation. // 最終プレゼンテーションまでの。
Nick said, / ニックはこう言った
“Failure to prepare / 「準備をしないことは
is preparing to fail.” // 失敗する準備をしているのと同じである。」
Because of her hard work, / 懸命な努力のおかげで
her true feelings toward the 2020 Olympics / 2020年オリンピックに対する彼女の本当の気持ち
reached the hearts of the listeners. // 聞き手の心に届いたのだった。

⑤

You may remember the word “o-mo-te-na-shi” / 「お・も・て・な・し」ということばをあなたは覚えているかもしれない

used by Takigawa Christel. // 滝川クリステルさんが使った。
This word had a strong impact / この言葉は強い影響を与えた
even on Japanese people, / 日本人にさえも
and it was chosen / そしてそれは選ばれた
as one of the most popular words of 2013. // 2013年に最も人気のあった言葉の1つとして。
Why was this Japanese word chosen / なぜこの日本語が選ばれたのだろうか
for her speech? // 彼女のスピーチに。

⑥

When Nick visited Japan, / ニックが日本を訪れたとき
he was very impressed with the kindness / 彼は思いやりにとっても感銘を受けた
he was shown during his stay. // 彼の滞在中に示された。
He was told / 彼は教わった
that this kindness is called *omotenashi* / この思いやりは「おもてなし」と呼ばれていると
among Japanese people, / 日本人の間で
so he decided to use the idea of *omotenashi* / それで彼は「おもてなし」という考えを使うことにした
in the presentation. // プレゼンテーションで。

He tried to translate the word into English and French, / 彼はそのことばを英語とフランス語に翻訳しようとした
but after all he couldn't. // しかし結局彼にはできなかった。
The word would lose its original meaning / そのことばは本来持つ意味を失うだろう
if it were translated into other languages. // もしそれが他言語に翻訳されれば。

⑦

In the speech, / スピーチの中で
Takigawa said the Japanese word letter by letter, / 滝川さんは1文字ずつその日本語のことばを言った
like “o-mo-te-na-shi,” / 「お・も・て・な・し」というように
with gestures. // ジェスチャーを交えて。
This way of saying it / このような言い方は
had a strong impact on the listeners. // 聞き手に強い影響を与えた。
As a result, / 結果として
she was successful in getting their attention, / 彼女は注目を集めることに成功した
and the word *omotenashi* became the theme of the Japanese team. // そして「おもてなし」ということばは日本チームのテーマになった。

3

Nick chose Sato Mami /
 as the first presenter. //
 She was a Paralympian /
 and had also () in the Great East
 Japan Earthquake. //
 Her topic for the speech /
 was “The Power of Sports.” //
 She was () () () /
 to make this speech /
 because she really showed the power /
 that () () () her cancer /
 and the () of the earthquake. //

ニックは佐藤真海さんを選んだ
 最初の発表者として。
 彼女はパラリンピック選手であった
 また東日本大震災で被災していた。
 彼女のスピーチの題目は
 「スポーツの力」だった。
 彼女は最適な人物であった
 このスピーチをするための
 彼女は実際にその力を証明して見せたので
 自らのがんを乗り越えるのに役立った
 そして地震という困難を。

4

Of course, /
 she was () a professional speaker ()
 () (). //
 The good thing about her, /
 however, /
 was that she () () () () () /
 as an athlete. //
 For her four-minute speech, /
 she practiced () () a day /
 for weeks /
 before the final presentation. //
 Nick said, /
 “Failure to prepare /
 is preparing to fail.” //
 Because of her hard work, /
 her true feelings toward the 2020 Olympics /
 reached the hearts of the listeners. //

もちろん
 彼女は決してプロの話し手というわけではなかつた。
 彼女の良いところは
 しかしながら
 つらい練習に慣れていたことだった
 運動選手として。
 4分間のスピーチのために
 彼女は1日数時間練習した
 数週間
 最終プレゼンテーションまでの。
 ニックはこう言った
 「準備をしないことは
 失敗する準備をしているのと同じである。」
 懸命な努力のおかげで
 2020年オリンピックに対する彼女の本当の気持ち
 が
 聞き手の心に届いたのだった。

5

You may remember the word “o-mo-te-na-shi” /
 used by Takigawa Christel. //

「お・も・て・な・し」ということばをあなたは
 覚えているかもしれない
 滝川クリステルさんが使った。

This word () a strong () /
 () () Japanese people, /
 and it was chosen /
 as one of the most popular words of 2013. //
 Why was this Japanese word chosen /
 for her speech? //
 6
 When Nick visited Japan, /
 he () very () () the kindness /
 he was shown during his stay. //
 He was told /
 that this () is called *omotenashi* /
 among Japanese people, /
 so he () () () the idea of *omotenashi* /

この言葉は強い影響を与えた
 日本人にさえも
 そしてそれは選ばれた
 2013年に最も人気のあった言葉の1つとして。
 なぜこの日本語が選ばれたのだろうか
 彼女のスピーチに。
 ニックが日本を訪れたとき
 彼は思いやりにとても感銘を受けた
 彼の滞在中に示された。
 彼は教わった
 この思いやりは「おもてなし」と呼ばれていると
 日本人の間で
 それで彼は「おもてなし」という考えを使うこと
 にした

in the presentation. //
 He () () () the word ()
 English and French, /
 but () () he couldn't. //
 The word () () its original meaning /
 if it () () into other languages. //

プレゼンテーションで。
 彼はそのことばを英語とフランス語に翻訳しようとした
 しかし結局彼にはできなかった。
 そのことばは本来持つ意味を失うだろう
 もしそれが他言語に翻訳されれば。

7

In the speech, /
 Takigawa said the Japanese word ()
 () (), /
 like “o-mo-te-na-shi,” /
 with gestures. //
 This way of saying it /
 had a strong impact on the listeners. //
 () () (), /
 she was () () getting their attention, /
 and the word *omotenashi* became the theme of
 the Japanese team. //

スピーチの中で
 滝川さんは1文字ずつその日本語のことばを言った
 「お・も・て・な・し」というように
 ジェスチャーを交えて。
 このような言い方は
 聞き手に強い影響を与えた。
 結果として
 彼女は注目を集めることに成功した
 そして「おもてなし」ということばは日本チーム
 のテーマになった

Side A Why did Sato Mami succeed in her presentation?

Sato Mami, a Paralympian, was chosen as the ① () () because Nick believed in her power to ② () both her disease and the difficulty of the earthquake. Since she was an ③ (), she was used to ④ () (). She practiced her speech over and over, and finally she was ⑤ () in conveying her true feelings towards the audience.

Side B Answers

Takigawa Christel, who is famous for the word “omotenashi” in her speech was chosen as the second speaker. Nick chose this word because he was deeply

- ① impressed(touched/moved) by the kindness called “omotenashi” Japanese people showed him. The word wasn’t ② translated into foreign languages to save its ③ original meaning. During her presentation, Takigawa pronounced this word ④ letter by letter with ⑤ gestures, and it attracted great attention from the listeners.

Side B What was the good point of Takigawa Christel’s presentation?

Takigawa Christel, who is famous for the word “omotenashi” in her speech was chosen as the second speaker. Nick chose this word because he was deeply

- ① () by the kindness called “omotenashi” Japanese people showed him. The word wasn’t ② () into foreign languages to save its ③ () (). During her presentation, Takigawa pronounced this word ④ () () () with ⑤ (), and it attracted great attention from the listeners.
-

Side A Answers

Sato Mami, a Paralympian, was chosen as the ① first presenter(speaker) because Nick believed in her power to ② overcome both her disease and the difficulty of the earthquake. Since she was an ③ athlete, she was used to ④ hard practice. She practiced her speech over and over, and finally she was ⑤ successful in conveying her true feelings towards the audience.

実践上の留意点

1. 授業説明

この授業は教科書本文の内容をより具体的に読む授業である。本文全体の概要把握は単元の最初に済ませておき、その後各パートの内容や語法について、発問等を記載したワークシート（資料1）に基づいて確認していくという流れである。このやり方では生徒を指名して発問の答えを確認するという、教師主体で生徒が受け身の授業になりがちであるため、ワークシートにある問い以外にもその場で全体に問いかけたり、ペアで考えさせたり等の工夫をしてできる限り生徒主体の雰囲気を作るよう心がけた。また、音読（資料2）やインフォメーションギャップ（資料3）を通して内容の定着をはかった。

2. 研究協議より

- ・発問についてじっくり考えること自体もひとつのアクティブラーニングなのではないか。
→生徒がにぎやかに活動していないとアクティブではないのかということそうではない。時にはじっくり考える活動も必要。
- ・じっくり本文を読ませたいなら発問は少なくする。
→何を授業の軸に据えるかを定めることが大切。
- ・テンポ良く授業を進めることを意識するあまり、生徒に問いについて考えさせる時間が十分にとれていなかった。
- ・授業を観察していて、改めて生徒は素朴なところではつまづくのだということに気がついた。
- ・生徒が悩んでいるところで発問ができていたが、回答をせかすところもあったのでじっくり待つことも必要。
- ・概要把握でとった情報を再提示することで単元全体の指導に一貫性が生まれるのではないか。
- ・ワークシートの発問の並べ方について、今は本文の流れどおりに発問を置いているが、内容に関する発問の中でも事実発問、推論発問の順にしたり、語彙・文法に関する発問をまとめて後で問うたりなど、工夫すると良い。
- ・本文中にある英語そのものの言い回しの面白さを取り上げていた。その発問の広げ方は教師によって様々あるのではないか。